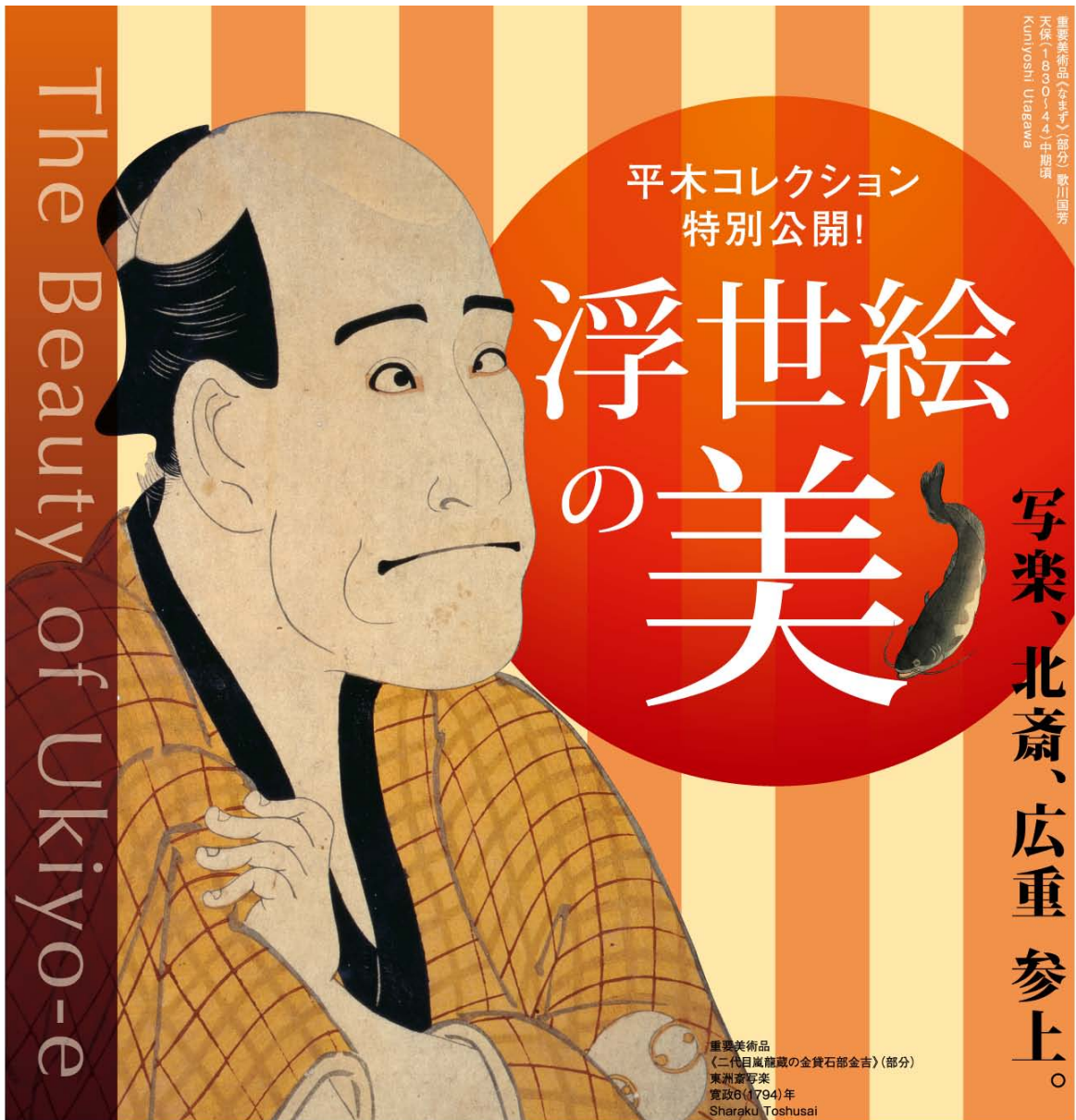


press release



写楽、北斎、広重 参上。平木コレクション特別公開！

浮世絵の美展

The Beauty of UKIYO-e

会 期：平成24年12月4日(火)－平成25年1月14日(月・祝)

休 館 日：年末年始(12月26日－1月1日)

開館時間：9:00～17:00(金曜日は19:00まで)

※12月4日(火)は10:00から。入館は閉館30分前まで。

※会期中、一部展示替えを行います。

前期：12月4日－12月25日／後期：1月2日－1月14日

料 金：一般 1,200円(1,000円)

高・大学生 800円(600円)

中学生以下無料

※()内は前売・20名以上の団体



●JR広島駅より約1km

●広島城より約400m

●市内電車(「八丁堀」で乗り換え)白島線で「縮景園前」下車約20m



広島県立美術館

Hiroshima Prefectural Art Museum

〒730-0014 広島市中区上鞆町2-22 TEL(082)221-6246

http://www1.hpam-unet.ocn.ne.jp/ FAX(082)223-1444

浮世絵 の美

【展覧会内容】

浮世絵の美—写楽、北斎、広重 参上。

全国有数の浮世絵コレクションで知られる、平木浮世絵美術館は、昭和47年(1972)に日本初の浮世絵美術館「リッカー美術館」として開館したのが始まりです。第2次大戦前、国内の浮世絵三大コレクションとして著名であった「斎藤・三原コレクション」が故・平木信二氏の所有となり、コレクションの礎となりました。今回、展覧会では、平木コレクションから重要文化財・重要美術品145点に加え、関西・中国地方にゆかりの浮世絵作品30点をご紹介します。

展覧会は、杉村治兵衛、奥村利信などの浮世絵の初期から、鈴木春信、鳥居清長、喜多川歌麿、東洲斎写楽、歌川豊国、歌川広重、歌川国芳、葛飾北斎など、江戸時代の浮世絵の代表作をご覧いただける、またとない機会となっています。

【見どころ】

① 重要文化財・重要美術品 ずらり145点！

② 初期作品も充実

杉村治兵衛や鳥居清信による丹絵(たんえ＝墨摺絵に黄色や丹で手彩色を施したもの)や、つづく鳥居清忠、奥村政信による漆絵(うるしえ＝黒色部に膠を塗って漆のような光沢を見せたもの)など、後の色鮮やかな多色刷りの浮世絵版画とは異なる風合いや温かみが魅力。珍しい初期作品が並びます。

③ 江戸風俗を堪能

美人画、役者絵、名所絵、花鳥画等々、多様な視点で楽しめる浮世絵。江戸の景観や町の様子、人々の暮らしぶりや衣装など江戸風俗が活気あふれる描写でとらえられ、我々を魅了してやみません。



重要美術品 《荻野伊三郎》
奥村政信 享保(1716-1736)中期
平木浮世絵美術館蔵



重要文化財 《花下美人》
石川豊信 延享期(1744-1748)
平木浮世絵美術館蔵

前期展示



重要美術品 《座舗八景 手拭掛帛帆》
鈴木春信 明和3(1766)年頃
平木浮世絵美術館蔵

前期展示

錦絵の発展に繋がる<座舗八景(ざしきはっけい)>は、春信の代表作。ここでは、八つの景観(八景)の「見立て」にもご注目いただきたい。画面左手前にある、風にはためく手拭が帆に見立てられているのがおわかりになるか。

【平木浮世絵美術館 UKIYO-e TOKYOについて】

財団法人 平木浮世絵財団は、故平木信二氏がこよなく愛された平木コレクションを保存・公開する目的で設立され、昭和47年(1972)9月に日本で初めての浮世絵専門美術館である「リッカー美術館」を開館し、平木浮世絵美術館を経て、平成18年(2006)10月に東京ベイエリアの新興都市豊洲に「平木浮世絵美術館 UKIYO-e TOKYO」を開館いたしました。

「平木浮世絵美術館 UKIYO-e TOKYO」では、毎月様々なテーマにより浮世絵の展覧会を開催しています。歌麿、北斎、広重などの名品鑑賞はもちろん、浮世絵を様々な角度から楽しむことで、より深く江戸の文化を知ることが出来るよう、努めてまいります。

幕末から明治にかけて大量の浮世絵が海外へ流出し、今では主だった浮世絵のコレクションは欧米にあるといった状態ですが、国内にあっては戦前に三大コレクションとして著名な「松方コレクション(現在東京国立博物館所蔵)」、「斎藤コレクション」、「三原コレクション」がありました。そのうちの斎藤・三原コレクションが海外流出の危機に瀕した後、平木氏の所有となりました。

平木コレクションは、この二大コレクションを柱として増補・集大成をして、浮世絵の創始である菱川師宣から橋口五葉・伊東深水にいたるまで、浮世絵以降の日本の木版画の歴史がたどれるように形成され、約6000点を収蔵しています。その中には、重要文化財11点、重要美術品238点の指定作品を含み、優れた浮世絵のコレクションとして内外に知られています。

※平木浮世絵美術館ホームページより転用。 <http://www.ukiyoe-tokyo.or.jp/>



浮世絵 の美

press release

【関連企画イベント】

◇講演会(友の会共催)

「平木コレクションから」

日時:12月4日(火)13:30～

講師:佐藤光信(財団法人平木浮世絵美術館館長)

会場:地下1階講堂 (聴講無料、定員:200名)

◇講演会

「浮世の形象—平木コレクションの名品をめぐって—」

日時:1月5日(土)13:30～

講師:浅野秀剛(大和文華館館長)

会場:地下1階講堂 (聴講無料、定員:200名)

◇美術講座

「<浮世絵の美>の魅力」

講師:石川哲子(広島県立美術館主任学芸員)

日時:12月22日(土)13:30～

会場:地下1階講堂 (聴講無料、定員200名)

◇ギャラリートーク

講師:石川哲子(当館主任学芸員)

日時:12月14日(金)、1月4日(金) 11時～、

◇ミニ・ギャラリートーク

講師:石川哲子(当館主任学芸員)

日時:12月14日(金)、1月11日(金) 18時～

◇ウェブ・レポーター大募集！！

インターネットで情報発信をされている方に浮世絵の美展をご鑑賞いただき、その素敵な感想をインターネットを通じて、情報発信していただきます。もちろん、ウェブ・レポーターとして当日ご参加いただく方は、無料で浮世絵の美をご鑑賞いただけます。

日時:12月7日(金)17:00～18:30

受付場所:3階特別展入口 実施場所:3階展示室内

対象:ホームページ、ブログ、ツイッター、フェイスブックなどのSNSにて情報発信をされている一般の方

特典:実施当日限り、浮世絵の美展にご招待

浮世絵 の美

press release

【開催概要】

展覧会名称

写楽、北斎、広重 参上。平木コレクション特別公開！浮世絵の美展

開催クレジット

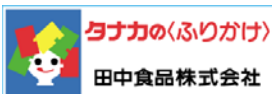
主 催

広島県立美術館、テレビ新広島、中国新聞社

後 援

中国放送、広島テレビ、広島ホームテレビ、広島エフエム放送、FMちゅーピー76.6MHz、エフエムふくやま、尾道エフエム放送、FMIはつかいち76.1MHz、FMハムスター79.0MHz

特別協賛



協 賛

広島県信用組合

協 力

財団法人 平木浮世絵財団

会 場

広島県立美術館 3階企画展示室（広島市中区上幟町2-22）

会 期

平成24年12月4日（火）－平成25年1月14日（月・祝） 35日間

休館日 年末年始（12月26日－1月1日）

※会期中、一部展示替えを行います。 前期：12月4日－12月25日／後期：1月2日－1月14日

開館時間

9:00－17:00（金曜日は19:00まで開館） ※入館は閉館の30分前まで ※12月4日は10時開館

入館料

一 般1,200円（前売り・団体1,000円）

高・大学生 800円（前売り・団体 600円）

※中学生以下無料です。 ※団体は20名以上

※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳及び戦傷病者手帳の所持者と介助者（1名まで）の当日料金は半額です。

※東日本大震災で避難してこられた方は無料です。

前売券販売所

広島県立美術館、チケットぴあ（Pコード：765-430）、CNプレイガイド（TEL:0570-08-9999）、セブンチケット（セブンコード019-923）、広島県内の主なプレイガイド・画廊・画材店、中国新聞社読者広報部、中国新聞各販売所（取り寄せ）など

問い合わせ先

広島県立美術館

〒730-0014 広島市中区上幟町2-22 TEL.082-221-6246 FAX.082-223-1444

担当 学芸課 石川哲子／事業推進課 山本恵子

浮世絵 の美

press release

【出品作品図版】

※出品作品は、予告なく変更となる場合がございます。ご了承ください。



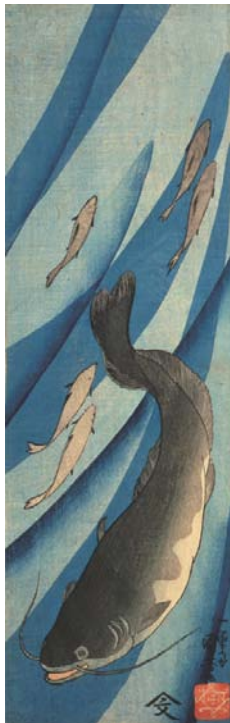
重要美術品《二代目嵐龍蔵の金貨石部金吉》東洲斎写楽
寛政6(1794)年 平木浮世絵美術館蔵



重要文化財《江戸近郊八景之内 行徳帰帆》歌川広重
天保8-9(1837-1838)年頃 平木浮世絵美術館蔵



重要美術品《詩哥寫真鏡 少年行》
葛飾北斎
天保4-5(1833-1834)年頃
平木浮世絵美術館蔵



重要美術品
《なまず》歌川国芳
天保(1830-1844)中期頃
平木浮世絵美術館蔵



重要美術品《鷺娘》鈴木春信
明和3(1766)年頃 平木浮世絵美術館蔵